

3 研究のまとめ

研究のまとめ

(1) 研究の成果

ア チェックシートを継続的に使用した全ての児童生徒が学びやすい授業づくりの提案

平成26年度特命研究で作成したチェックシートの継続的な使用方法を、PDCAサイクルの考えを基に提案することができました。チェックシートを学期や単元ごとなど定期的に使用していくことで、児童生徒の実態を把握したり、授業者の「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた支援についての理解を深めたりすることができました。

実践授業における児童生徒アンケートを1、2学期で比較すると、2学期の授業の方が分かりやすかったという回答が多く見られました。また、「考えをまとめるワークシートがあったので分かりやすかった」「電子黒板や学習用PCを使って説明されたので分かりやすかった」「友達と考えを交流することで自分の考えをまとめることができた」などの感想が多くあり、これまでの授業よりも学びやすいと感じている様子が見られました。

これらのことから、チェックシートを継続的に使用することで、授業改善や教師の授業力向上が図られ、全ての児童生徒にとって学びやすい授業づくりにつながったと考えます。

イ 「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた支援に対する教師の意識の向上

チェックシートを記入することで、普段の授業で意識している「ユニバーサルデザイン」の4つの視点の支援の傾向を意識したり、学習につまずきを感じている児童生徒の実態に気付いたりすることができました。また、チェックシートの結果を基に、これまでの授業であまり意識していなかった視点の支援や、実践する授業で意識したい支援、つまずきが予想される児童生徒に対して必要な支援を取り入れた授業づくりを検討することができました。

1、2学期のチェックシートのレーダーチャートの結果を比較すると、全ての授業者の「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた支援に対する意識の向上が見られました。授業者アンケートでは、「チェックシートの結果を参考にすることで、授業における支援を考えることができた」「同学年の担任でチェックシートを共有することで、学年全体における支援の共通理解につながった」などの感想があり、チェックシートを継続的に使用した授業改善は有効であると考えます。

ウ 全ての児童生徒が学びやすい授業づくりのリーフレットの作成

小・中学校の通常学級及び高等学校において、全ての児童生徒が学びやすい授業づくりについての考え方や、本研究で実際に取り組んできたことを、リーフレットとしてまとめることができました。「ユニバーサルデザイン」の4つの視点の説明や、PDCAサイクルの考えを基にしたチェックシートの継続的な使用方法など、本研究の内容を紹介することができました。リーフレットを発信することで、全ての児童生徒が学びやすい授業づくりについて、教師の意識の向上を図ることができると考えます。

(2) 研究の課題と今後の展望

ア 全ての児童生徒が学びやすい授業づくりの更なる展開

本研究では、チェックシートを継続的に使用した、小・中学校の通常学級及び高等学校における全ての児童生徒が学びやすい授業づくりについて、提案することができました。しかし、授業実践や授業研究会等を通して、児童生徒の学習に対するつまずきの多様性を感じました。

そのため、児童生徒の学習におけるつまずきや学級の実態を的確に把握して、学級全体に対する支援や個別への支援の在り方について探っていくことが必要であると考えます。特に、個別への支

援については、平成28年4月に施行される「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に、「※合理的配慮」として、支援の提供が求められています。今後は、児童生徒の詳細な実態把握、支援内容の決定、支援内容の見直し、支援内容の引継ぎ、個別の教育支援計画及び個別の指導計画の活用などの在り方について探っていくことで、全ての児童生徒が学びやすい授業づくりの更なる展開を図っていきたいと考えます。

※合理的配慮とは、「障害のある子供が他の子供と平等に教育を受ける権利を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うこと」です。

イ 組織的な支援体制づくりについて

「ユニバーサルデザイン」4つの視点に応じた支援を取り入れることと並行して、児童生徒同士や児童生徒と教師のより良い関係づくり、学校全体の学習や生活面における共通理解など、授業づくりの土台となる視点に応じた支援の必要性も感じました。

そのため、支援内容の決定等に向けた児童生徒や保護者との建設的な対話、校内委員会への接続や組織的な対応、医療、保健、福祉、労働機関との連携など、校内の支援体制作りや学校外の教育資源との連携の在り方についても探っていく必要があると考えます。今後は、これらのことも「ユニバーサルデザイン」の視点として捉えながら、全ての児童生徒が学びやすい授業づくりの在り方を探っていきたいと考えます。

《引用文献》

- ・文部科学省 『共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）』 平成24年7月